



環境報告書

2024

報告対象期間:2023/4/1 ~ 2024/3/31

トップメッセージ

世界気象機関（WMO）の年次報告書によると、2023 年も気候変動は急速に進行を続け、地球が危機的状況にある事を示しています。化石燃料による環境汚染が、気候の混乱をかつてないレベルにまで押し上げています。2023 年は記録的な暑さ、記録的な海面水位、記録的な海面水温が観測され、氷河の融解は、過去最大だったと言われています。2023 年の世界全体の気温は、一時的に産業革命以前の水準と比べて 1.5℃上昇するまでに危険なほど近づきました。こうした情勢から、気候崩壊への危機感は年々高まっており、地球温暖化を防止するための取組みが一層求められています。

大和紡績グループは、2050 年に向けたカーボンニュートラルを実現するため、あらゆる選択肢を追求し事業の構造改革を進めてまいります。

当社は、研究開発の拠点となる播磨研究所に、合繊、産業資材、製品・テキスタイル事業に分散していた研究開発機能を統合し、分野の垣根を越えた、横断的な研究開発によって、独自の原料や加工による商品開発のほか、市場の未来を見据えた基礎技術の研究も推し進められる体制を整えました。環境配慮型商品については多様な顧客ニーズに応えるため、機能性レーヨンを活用した商品開発やリサイクル原料の有効利用、植物由来のバイオマス・生分解繊維など、サステナブルな商品の開発に取り組んでいます。

こうした持続可能な商品を提供する役割に加え、「人と地球にやさしい」をスローガンとする経営理念に基づき、働く人の基盤整備や、事業所の安全衛生と環境保全、社会規範の遵守、地域社会への貢献など 17 項目の重要課題を掲げて ESG 活動を推進してきました。

環境問題に対しては、生産性の改善を進めると共に省エネルギー技術の導入、脱炭素エネルギーへの転換、廃棄物の 3 R 推進に取り組み、ESG や SDGs の観点から環境保護に貢献してまいります。

私たち大和紡績グループは、社会から信頼される企業として、人と地球に優しい持続可能な企業価値創造を目指し変革を続け、より豊かで調和のとれた社会の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 有地 邦彦

目 次

トップメッセージ	2
目次	3
理念体系	4
企業行動憲章	5
コーポレートガバナンス	6
環境方針	7
SDGsへの取り組み	8
会社概要	9
国内拠点	10,11
環境配慮商品	12,13
事業活動における物質フロー	14
環境保全活動	15,16,17
安全衛生活動	18
従業員の教育	19
社会貢献活動	20

理念体系

社訓

和ヲ以テ貴シト為ス

行動規範

- ・ 真実と公正を認識の基準とする。
- ・ 自己改革と自己責任を思考の原点とする。
- ・ 迅速と完結を行動の基本とする。

企業行動憲章

大和紡績グループは、国内外において関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、憲章に掲げた10原則に基づき、持続可能な社会の発展に向け、高い倫理観をもって社会的責任を果たします。

経営理念

- ・ 私たちは、未来を見据えた創造力と構想力をもって、次代が求める信頼されるモノづくりに挑戦し続けます。
- ・ 私たちは、繊維の可能性を追求した独自の開発技術を基軸に、新たな価値を創造し、企業としての成長を目指します。
- ・ 私たちは、環境・社会・企業統治の視点を重視する事業運営に努め、人と地球にやさしい持続可能な社会の発展に貢献します。

タグライン

ツムグにひとミライ

企業行動憲章

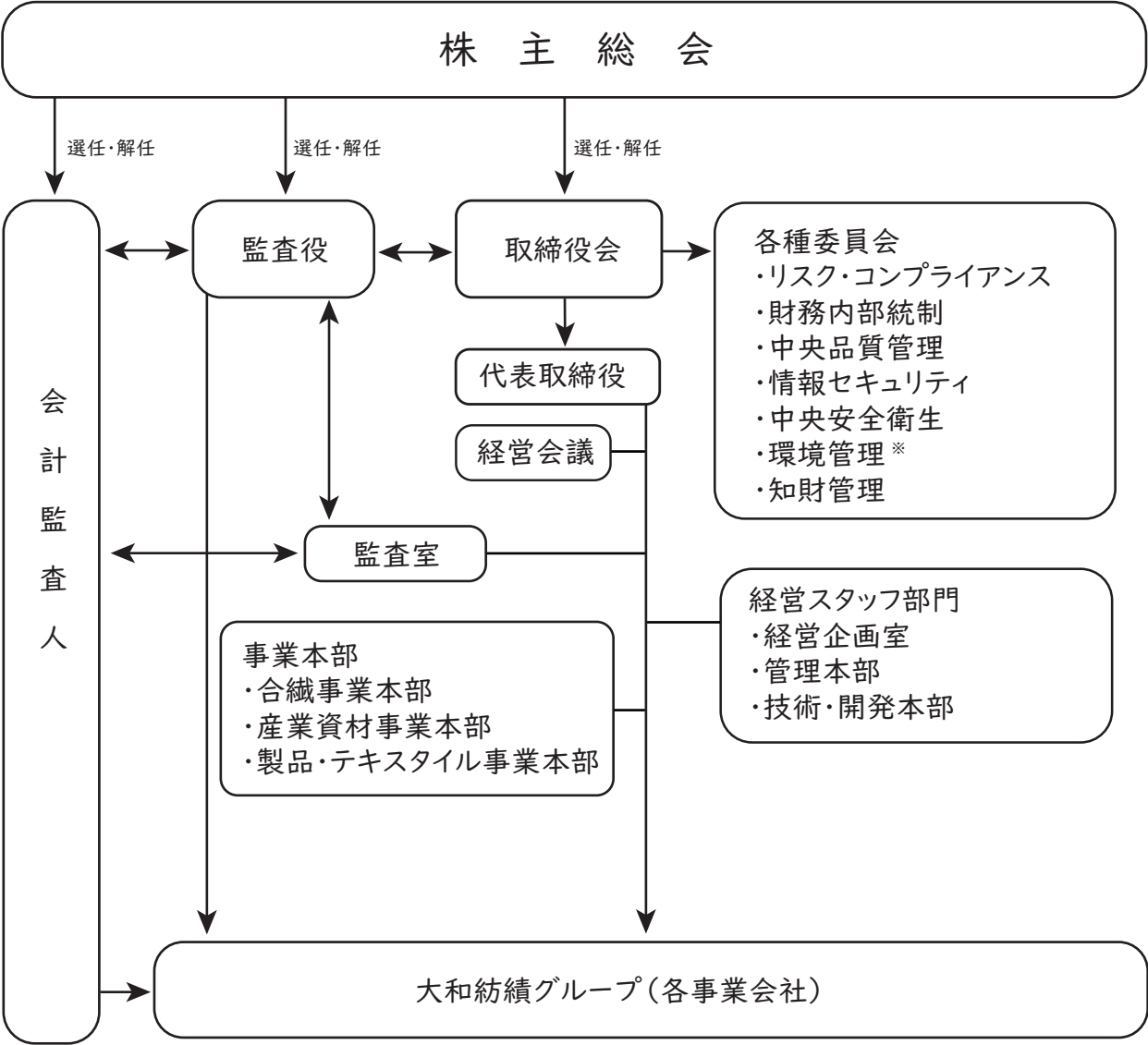
大和紡績グループは、国内外において関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、次の10原則に基づき、持続可能な社会の発展に向け、高い倫理観をもって社会的責任を果たします。

企業行動憲章10原則	ESG軸	SDGs軸
1. 持続可能な経済成長と社会的課題の解決 改革と挑戦により社会に有用で良質で安全な商品・サービスを開発・提供し、持続可能な経済成長と社会的課題の解決に貢献します。	S	   
2. 公正な事業慣行 法令・倫理・慣行などの社会規範を遵守し、公正で透明性のある自由な競争ならびに適正な取引を確保・実行します。	G	 
3. 公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話 企業情報を適時適切に開示し、社会とのコミュニケーションを通して良好な関係を構築します。	G	
4. 人権の尊重 全ての人の多様性・人格・個性などの人権を尊重します。	S	  
5. 消費者・顧客との信頼関係 消費者・顧客に対して、商品・サービスに関する適切な情報を提供し、誠実な対応を心掛け、満足と信頼を獲得します。	S	
6. 働き方の改革、職場環境の充実 従業員のキャリア形成や能力開発に努めるとともに、安全で働きやすい職場環境を整備します。	S	     
7. 環境問題への取り組み 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、地球環境に十分配慮した商品の開発や事業活動に主体的に取り組めます。	E	         
8. 社会参画と発展への貢献 「良き企業市民」として社会貢献活動に努め、従業員の自発的な社会参画を支援します。	S	    
9. 危機管理の徹底 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力の行動やテロ・サイバー攻撃・自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底します。	G	 
10. 経営トップの役割と本憲章の徹底 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、実効あるガバナンスを構築して社内・グループ企業に周知徹底を図ります。 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決・原因究明にあたり、迅速かつ的確な情報の公表と再発防止策の徹底に努めます。	G	 

コーポレートガバナンス

当社は、コーポレートガバナンスを経営上の最重要課題の一つであると認識し、グループ各社の経営管理を強化するとともに、監査体制の充実によりグループ全体の経営効率の向上とガバナンスの徹底を図ることを、経営の基本方針としています。

<コーポレートガバナンス体制図>



※:2024年度より環境管理委員会はESG推進委員会へ統合。

環境方針

我々は、「人にやさしく、地球にやさしい」企業活動により、健康で文化的な生活に不可欠な、地球環境の保全に努めます。

1. 健全な環境を維持するため、環境負荷の低減、および環境汚染予防を目的とした環境保全活動を継続的に取り組みます。
 2. 環境に関連する法規制及び協定を遵守し、環境保全活動に取り組みます。
 3. 環境保全活動において次の項目についての改善を特に推進します。
 - (1) エネルギーの節減
 - (2) 資源の有効活用
 - (3) 有害な物質の環境への排出を削減する。
 - ※ (4) 我々の定める有害な化学物質が製品に入らないようにする。
 - (5) 環境に優しい開発品の提案に努める。
 4. 効果的な環境保全活動の推進に向けて、環境目標を定め、環境保全活動の実現を図るために管理します。
 5. 本環境方針を実効・維持するために、全従業員に対して周知を図り、また、一般にも公開しその達成に努めます。
- ※ (4)：化審法や毒劇法など、各種法令に準拠した化学物質の管理を前提としています。

SDGs への取り組み

我々はモノづくりに取り組むメーカーとしての責任を果たすため、CO₂排出量削減を中心に、エコロジー素材の開発や労働環境の醸成、従業員教育の充実、ガバナンスの強化など社会課題に向合った活動を通じ持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

社会課題		重要課題	活動項目	SDGsとの関連
E (環境)	1.地球環境保護の推進	①環境負荷の低減	・CO ₂ 排出量の削減 ・リサイクルの促進 ・資源の有効活用 ・PRTR特定化学物質の削減 ・輸送効率の向上	
		②環境配慮商品の開発	・エコロジー素材の開発	
		③3Rの推進	・産業廃棄物の削減	
		④環境マネジメント	・ISO14001の運用と監査の実施	
S (社会)	2.持続可能な社会への貢献	⑤持続可能商品の提供	・社会課題解決型の販売促進	
		⑥品質と安全	・ISO9001の運用と監査の実施	
		⑦サプライチェーン管理	・取引先のESG要請状況の確認 ・バイオマス、生分解等の持続可能性を有する原料の調達	
	3.労働環境の醸成と人材育成	⑧労働安全衛生	・安全衛生活動、防災訓練	
		⑨有給休暇取得の推進	・労務管理の向上	
		⑩従業員の健康維持	・ストレスチェック、産業医指導	
		⑪ITによる業務効率化	・RPAの活用 (Robotic Process Automation)	
		⑫教育研修制度の充実	・従業員教育、資格取得	
	4.社会貢献活動	⑬地域社会への貢献	・地域コミュニティへの参画 ・地域清掃活動、緑化推進	
G (統治)	5.コーポレートガバナンス	⑭ガバナンスの推進	・リスク・コンプライアンス委員会 ・リスク管理マニュアルの整備	
		⑮災害対策の強化	・従業員教育 ・BCPの策定	
		⑯情報セキュリティ対策	・情報セキュリティ委員会 ・従業員教育	
		⑰ステークスホルダーとの対話	・利害関係者からのニーズ、苦情等への対応	

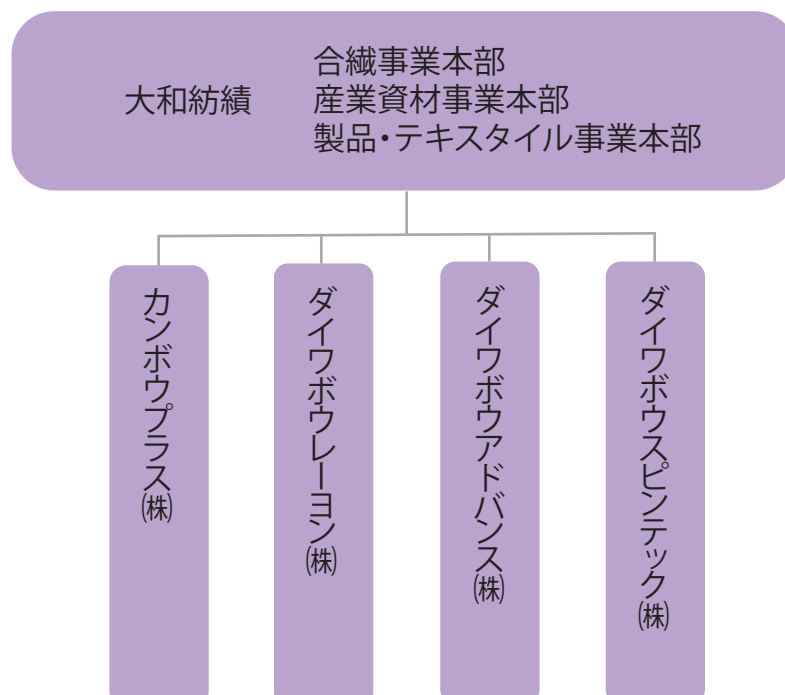
会社概要

代表者	有地 邦彦
創立	2009年7月1日
資本金	3,545百万円
従業員数	1,399名(国内連結2024年3月現在)

主な事業内容

- ・合繊事業本部
化合繊綿、糸、不織布製品の製造販売
- ・産業資材事業本部
製紙用カンバス、濾過布、フィルター、土木資材、ゴム材料、自転車タイヤの製造販売
- ・製品・テキスタイル事業本部
糸、生地等の各種繊維原料および衣料製品、寝具、寝装品、日用雑貨等の繊維製品の製造販売
- ・カンボウプラス(株)
キャンバス製品の製造販売、建築物・工作物の設計・施工
- ・ダイワボウレーヨン(株)
レーヨン綿、不織布及びその二次製品、機能性材料及びそれらを含む製品の製造販売
- ・ダイワボウアドバンス(株)
紳士・婦人・子供向け衣料品のカジュアルウェア全般及びインナーウェアの製造販売
- ・ダイワボウスピンテック(株)
繊維素材の製造販売と新素材の研究開発

組織図



国内拠点

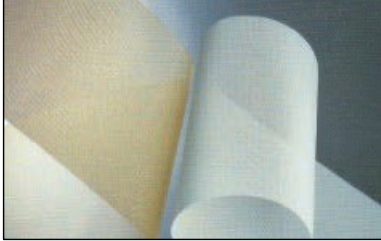
国内事業拠点一覧

本社	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-6-8 JRE御堂筋ダイワビル TEL 06-6281-2512 FAX 06-6281-2522	東京本社	〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12-20 日本橋T&Dビル TEL 03-4332-8221 FAX 03-4332-8235
合繊 播磨工場	〒675-0163 兵庫県加古郡播磨町古宮877 TEL 078-942-1521 FAX 078-942-6251	産業資材 出雲工場	〒693-0001 島根県出雲市今市町1900 TEL 0853-21-0340 FAX 0853-21-0347
合繊 美川工場	〒929-0201 石川県白山市鹿島町1-9-9 TEL 076-278-7820 FAX 076-278-7811	産業資材 益田工場	〒699-3676 島根県益田市遠田町2142 TEL 0856-22-4531 FAX 0856-23-6914
合繊 益田工場	〒698-0036 島根県益田市須子町3-1 TEL 0856-22-8332 FAX 0856-22-6783	産業資材 明石工場	〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水73-1 TEL 078-946-7502 FAX 078-946-7503
播磨 研究所	〒675-0163 兵庫県加古郡播磨町古宮877 TEL 078-942-8457 FAX 078-942-7935	ダイワボウ スピンテック	〒699-0406 島根県松江市央道町佐々布75-2 TEL 0852-66-0221 FAX 0852-66-0224
カンボウ プラス 福井工場	〒916-0015 福井県鯖江市御幸町1-1-48 TEL 0778-51-6112 FAX 0778-51-6307	ダイワボウ レーヨン 益田工場	〒698-0036 島根県益田市須子町3-1 TEL 0856-31-0550 FAX 0856-22-8930
ダイワボウ アドバンス	〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12-20 日本橋T&Dビル5階 TEL 03-4332-5230 FAX 03-4332-5233		

国内拠点

・出雲工場（産業資材）

製紙用カンバス、濾過布、フィルター、土木資材の製造



・美川・益田工場（合繊）

生活資材用不織布の製造



・益田工場（産業資材）

自転車用タイヤの製造



・東京本社



・本社



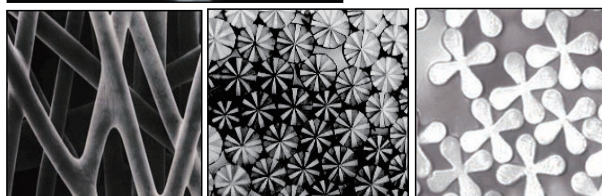
・明石工場（産業資材）

工業用ゴムの製造



・播磨工場（合繊）

化合繊維綿の製造



生分解性、天然素材



生分解性繊維
(miracle®fiberKK-PL)
微生物等による分解性がある
エコロジー樹脂(バイオマス)
のみで作られた熱接着性複合
繊維です。土中に埋めておくだ
けで、自然に分解する繊維で
す。



TWINLET®

ペットボトルを再生したりサイクルポリエステルをCOTTON USAマーク対応のアメリカ綿で包んだ2層構造系。系の表面はコットンなので優しい肌触り。吸水性や速乾性が高く、寸法安定性のあるサステナブルな素材です。



機能性紡績系
(Cell Harmo®)

コットンと機能レーヨンを組合
わせた環境に優しい紡績糸。
特殊技術でハリのある風合い
と優れた吸水速乾性を実現し
ました。機能レーヨンのライン
ナップによりUVカットや消臭な
ど様々な機能に対応します。



サステナブル不織布
(Apitas®B)

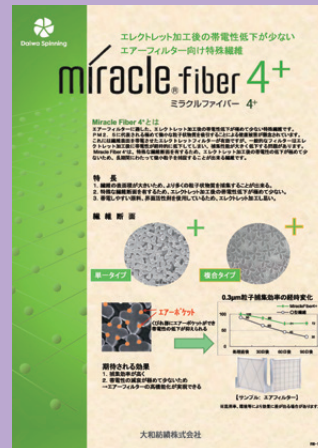
バイオマスマーク・FSCなどの
認証を取得可能なスパンレー
ス不織布です。バイオマスマ
ークは生物由来の資源を活用し
、品質及び安全性が関連する
法規、基準、規格に適合してい
る環境商品の目印です。

環境汚染防止



カートリッジフィルター
(SEKISO®)

独自の製造技術で開発された多層構造フィルターです。電子・塗料・メッキ・食品・化学工業をはじめ、様々な分野で活用されています。



エアフィルター用繊維
(miracle® fiber4⁺)

特殊な繊維断面により、PM2.5に代表される微小粒子に対して高い捕集効果を発揮します。また、エレクトレット加工後の帯電持続性に優れるため、長時間にわたって捕集効果が得られる繊維です。

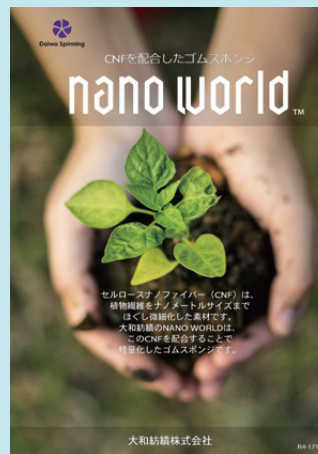
環境配慮商品

環境に優しいエコロジー素材

環境負荷低減

環境に優しいエコ素材
(Eco Release®)

エコリリースは、着用時に優れた速乾性能を持ち、水分や汗を素早く拡散し乾燥させます。また、皮脂汚れのリリース機能もあり、地球環境にも優しい素材です。

CNF配合ゴムスポンジ
(nano world™)

セルロースナノファイバ(CNF)と強化ゴムを複合した次世代型の環境素材。柔軟性と伸縮性を持ち、ウェットスーツ素材として軽量で保温性に優れた素材です。

フッ素フリー
撥水加工生地
Rain Pet®NW

有害性が指摘されている有機フッ素化合物(PFAS)が日本各地の河川や地下水から高濃度で検出され、社会問題となっています。Rain Pet®NWは、撥水剤に天然成分を使用した環境にも人にも優しい撥水生地です。

AIR SKY®
AIR FEATHER®
AIR BASE®

大和紡績の「軽量帆布シリーズ」は、織物本来の耐久性に加え、広幅・超軽量・防災・カラーバリエーションなど幅広く機能を高めました。

環境保全

コンクリート
自己治癒繊維
(Mercury®C)

コンクリート及びモルタルに混ぜることでひび割れを自己治癒することの出来る繊維です。コンクリート長寿命化の新素材として期待されています。



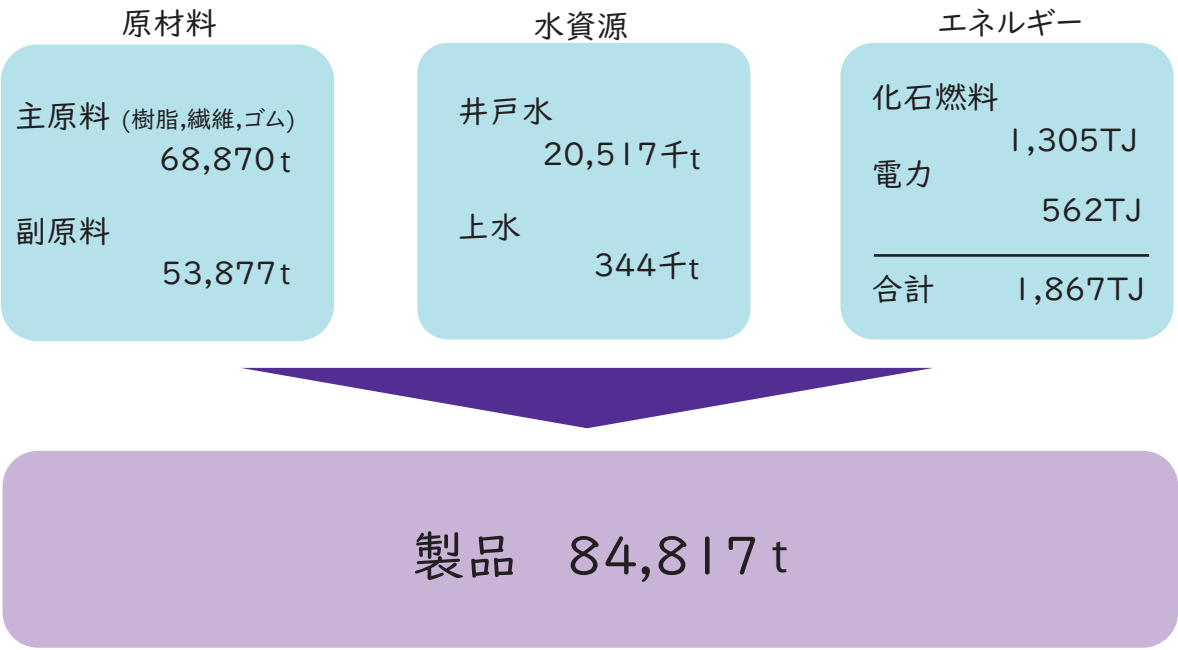
ニューポリプロシート

基布もコーティング樹脂もポリプロピレンを使ったオレフィン100%で環境に優しい軽量のシートです。トラックシートから倉庫用帆布まで、あらゆる産業資材分野で使用されています。

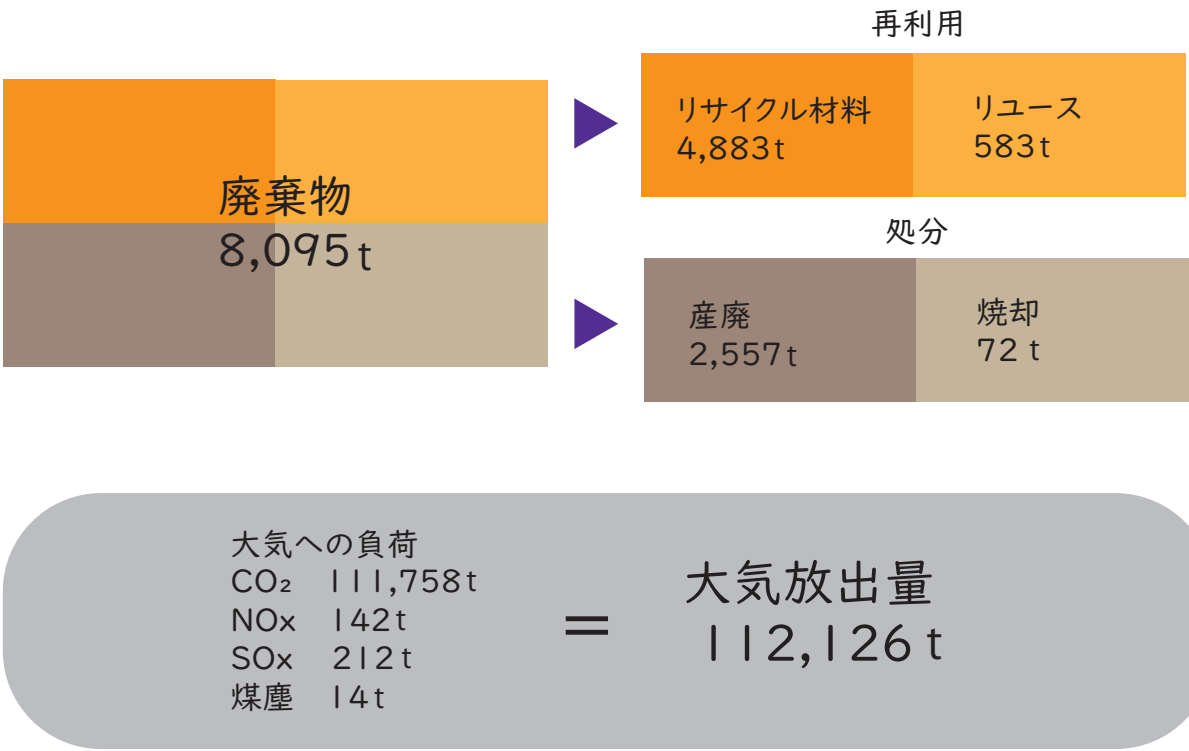
事業活動における物質フロー

2023年度の事業活動における物質フローは下記の通りです。大和紡績グループ国内拠点に関するデータを集計しました。

1. 生産活動



2. 環境負荷



環境保全活動



1. 地球温暖化防止

地球温暖化の影響により、2024年3月には世界の平均気温が観測史上最高を記録するなど、世界的に異常気象が続いています。気象災害の激甚化・頻発化は、各地で甚大な被害をもたらしており、将来世代にわたる影響が強く懸念されています。大和紡績グループは、脱炭素社会の実現に向け2050年までにカーボンニュートラルを目指すと共に、通過点の2030年では「2013年度比国内CO₂排出量30%削減 (Scope 1,2)」を目標に掲げています。産官学の共同開発では、NEDOグリーンイノベーション基金のコンソーシアムに繊維メーカーとして参画し、コンクリート中で二酸化炭素を積極的に固定化できる繊維を開発中であり、カーボンネガティブに向けた取組みを進めています。

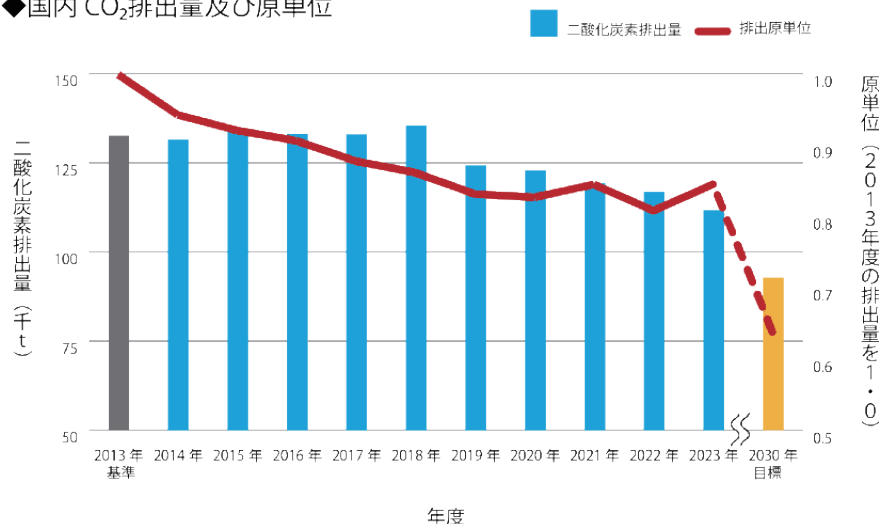
引き続き、エネルギー転換や省エネ設備への投資、資源循環の促進、モダリティシフトなどの活動を通して、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

2030年度国内CO₂排出量の削減目標:2013年度比30%削減 (Scope 1,2)

地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)により、特定事業所は温室効果ガス排出量の算出・報告・削減が義務付けられています。

当社ではボイラー燃料を重油からガスなどへの転換を進め、またCO₂フリーのグリーン電力を採用するなど温暖化ガスの排出抑制に取り組んできました。2023年度の二酸化炭素排出量は、基準年の2013年度比16%減少、原単位は前年増となりましたが、基準年から15%減少しました。

◆国内 CO₂排出量及び原単位

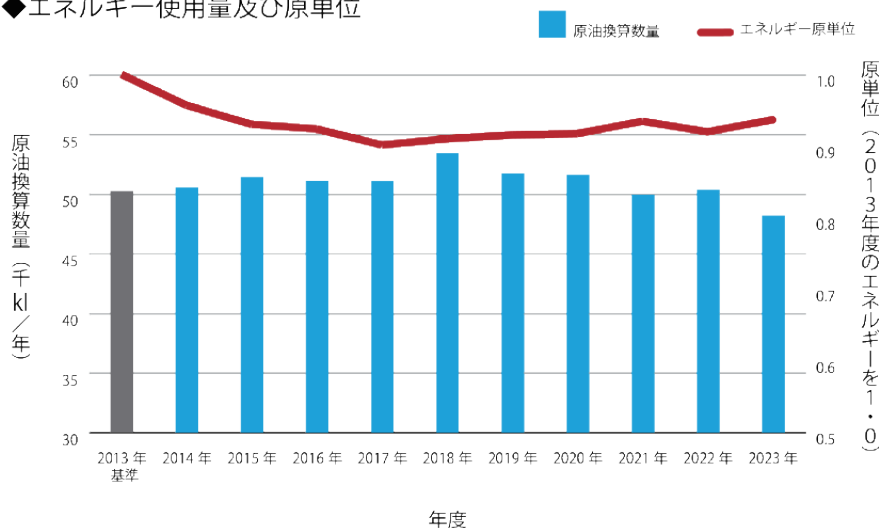


2. 省エネルギー

ダイワボウレーヨン益田工場、カンボウプラス福井工場、播磨工場、美川工場は第一種エネルギー管理指定工場、合繊益田工場、出雲工場は第二種エネルギー管理指定工場に該当します。

エネルギー使用量は減少しましたが、原単位は前年比2%増加しました。基準年の2013年度比では6%減少しました。各事業所では蒸気配管や電熱ヒーターの保温強化、蒸気・電力の管理強化などにより省エネルギー化を進めています。

◆エネルギー使用量及び原単位



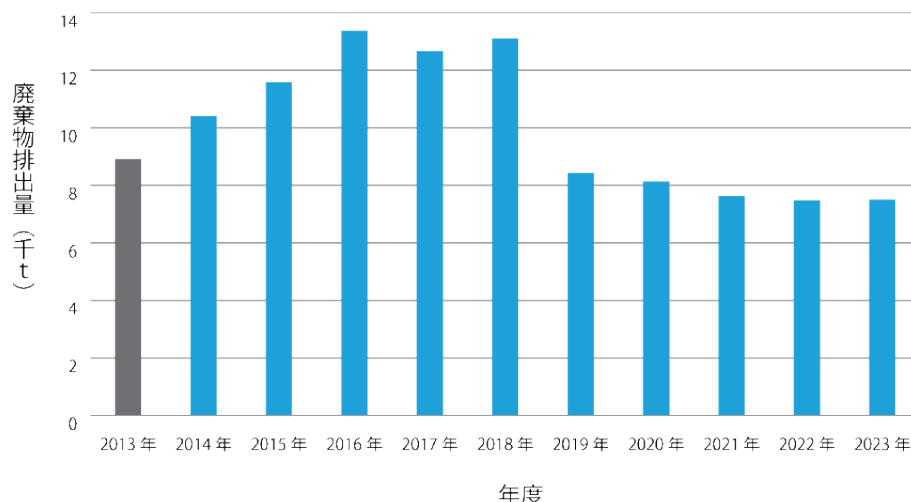
環境保全活動



3.廃棄物の削減

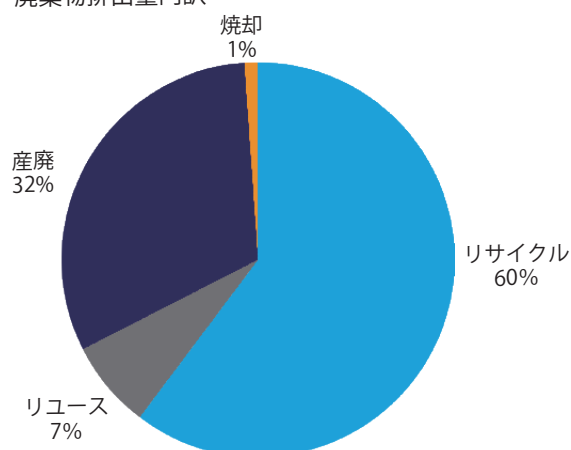
2023年度の産業廃棄物は、基準年の2013年度比16%減少しました。当社では、生産効率の向上に加え、マテリアルの内部リサイクルを進める一方、副産物のリユースに取り組んでいます。

◆廃棄物排出量の推移



2023年度の産業廃棄物の再利用率はリサイクル、リユースを合わせて67%(前年比+4%)でした。また、事業所内で焼却処理される廃棄物は前年の3%から1%へ減少しました。焼却処理についてはサーマルリサイクルシステムの確立を目指すなど、2030年度までに自家焼却処理を廃止する予定です。

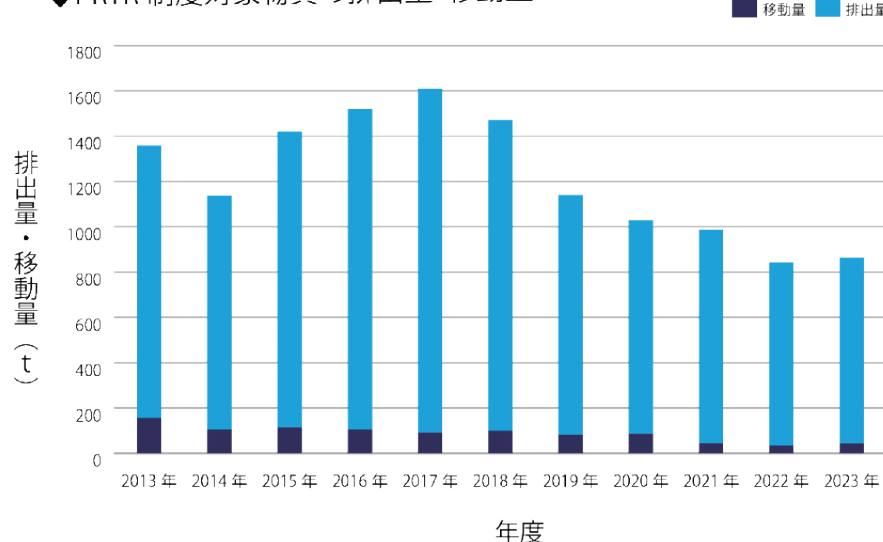
◆2023年度 廃棄物排出量内訳



4.化学物質の管理

PRTR制度の対象化学物質は、主に可塑剤や溶剤として使用し厳重に管理しています。また非対象物質への切り替えを進めるなど、移動・排出量の削減に取り組んでいます。

◆PRTR 制度対象物質の排出量・移動量



環境保全活動



5.主な取り組み

資源の循環利用（リサイクルの促進）

スポンジゴム製造工程からのリサイクル製品

粉碎後にソリッドゴムと混合し再製品化（疲労軽減マット）



粉碎機



ゴムチップ



ゴムチップと接着剤を攪拌



真空プレス



疲労軽減マット

不織布製造工程からのリサイクル

不織布の中間材料を再製品化



中間材料



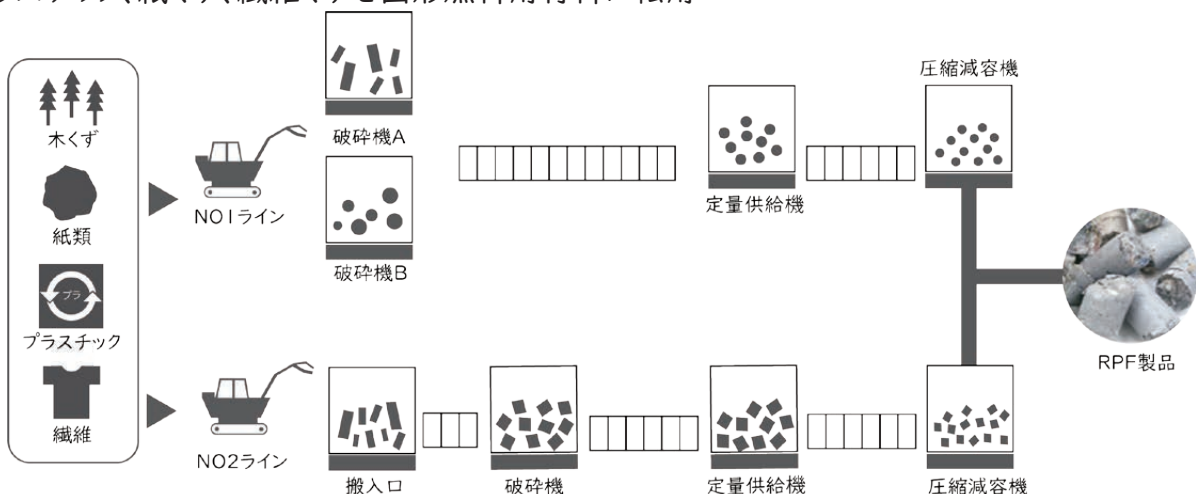
各種クッション材の中綿



ロープ芯材

廃棄物を燃料としてリサイクル

廃プラスチック、紙くず、繊維くずを固形燃料用材料に転用



安全衛生活動



全員参加型の安全活動を基本に、現場の定期的な見回りやヒヤリハット・リスクアセスメント活動を通じて、安心・安全な職場の醸成に努めています。また、各種講習会や安全衛生教育など、社員を守るための教育や健康を維持する取り組みを徹底しています。

防災訓練・消防訓練



体感装置による訓練



階層別安全教育



職場改善活動発表会



交通安全講習会



安全コンサルタント講話



従業員の教育



当社グループの従業員教育は、安全なモノづくりとお客様が満足する品質管理を実現するために、各種講習会、OJT、通信教育、公的資格の取得を推進し、従業員一人一人がレベルアップを図ることの出来る環境を整えています。

資格の一例

- ・特別管理産業廃棄物管理責任者
- ・公害防止管理者（大気、水質）
- ・エネルギー管理士
- ・危険物取扱者
- ・消防設備士
- ・電気工事士
- ・第三種電気主任技術者
- ・ボイラー技士
- ・第一種衛生管理者
- ・特定化学物質作業主任者
- ・有機溶剤作業主任者
- ・一般計量士
- ・クレーン運転
- ・フォークリフト運転
- ・高所作業車運転
- ・はい積み作業主任者
- ・ISO9001内部監査員
- ・ISO14001内部監査員
- ・保護具着用管理責任者

各種講習会の一例

- ・廃棄物焼却施設に関する業務の特別教育
- ・有機溶剤業務従事者労働衛生教育
- ・化学物質管理者講習
- ・粉塵作業特別教育
- ・防火管理者講習
- ・ダイオキシン類取り扱い業務特別教育
- ・高圧・特別高圧電気取り扱い業務特別講習
- ・アーク溶接講習
- ・乾燥設備作業主任者技能講習
- ・ボイラー取り扱い技能講習
- ・クレーン運転特別教育
- ・玉掛け技能講習
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・はい作業主任者技能講習
- ・ハラスメント講習
- ・働き方改革関連法等講習
- ・リスク・コンプライアンス研修
- ・労務管理研修
- ・保護具着用管理責任者教育

社会貢献活動



当社グループでは、地域社会との連携や、様々な社会貢献活動を通じて、より豊かで調和の取れた社会の実現に貢献できるよう取り組んでいます。

1. 地域就業支援「高校生の工場見学会」



2. 就業体験「インターンシップ受入」



3. 自治体の環境保全協議会に参画



4. 地域活動への協賛「萩・石見空港マラソン」



5. 地域周辺の清掃活動



ツムグにひとミライ



Daiwa Spinning

大和紡績株式会社
Daiwabo Co., Ltd.

内容に関するお問い合わせ先
品質・環境安全部

TEL 06-6281-2419 / FAX 06-6281-2585